



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月6日

上場会社名 株式会社ヨンキョウ 上場取引所 東
 コード番号 9955 URL <http://www.yonkyu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠岡 恒三
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長兼経営企画課長 (氏名) 善家 富夫 TEL 0895-24-0001
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 19,197 | △0.2 | 1,021 | 16.2 | 1,178 | 19.7 | 660 | 21.6 |
| 27年3月期第2四半期 | 19,235 | 1.3 | 879 | △15.7 | 984 | △18.6 | 543 | △12.0 |

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 552百万円 (△8.6%) 27年3月期第2四半期 604百万円 (△10.7%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-----------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | 57.35 | — |
| 27年3月期第2四半期 | 47.15 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | 28,496 | 22,662 | 79.5 | 1,966.71 |
| 27年3月期 | 26,455 | 22,248 | 84.1 | 1,930.75 |

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 22,661百万円 27年3月期 22,247百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | 12.00 | 12.00 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 12.00 | 12.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 38,000 | 0.3 | 1,385 | 1.8 | 1,600 | 1.0 | 820 | 0.8 | 71.16 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（4）追加情報」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 28年3月期2Q | 11,556,084株 | 27年3月期 | 11,556,084株 |
| 28年3月期2Q | 33,378株 | 27年3月期 | 33,328株 |
| 28年3月期2Q | 11,522,711株 | 27年3月期2Q | 11,522,929株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会資料の入手方法）

当社は、平成27年11月20日（金）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定となっております。

なお、当説明会で配布する資料につきましては、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| (4) 追加情報 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善、設備投資の持ち直しが見られるなど、景気は緩やかに回復しつつあるものの、中国経済をはじめとした海外景気の下振れなど、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

また、養殖業界におきましては、ハマチの魚価が安値基調で推移したことや配合飼料の値上げによる養殖コストの上昇などもあり、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループでは、引き続き、養殖魚の新ブランド(コラーゲンシリーズ)の販売推進など、国内市場における販売シェア向上と業務の効率化・コスト削減に努めてまいりました。

また、新規事業の「ウナギ養殖事業」においては、新ブランド(若うなぎ)として、成鰻を順次出荷しております。

その結果、「鮮魚の販売事業」は、鮮魚の販売数量の増加により増収、「餌料・飼料の販売事業」は、本年4月からの配合飼料値上げにより前連結会計年度末における駆け込み需要の反動減の影響に加え、6月から8月中旬にかけて愛媛県宇和海の広い範囲で赤潮が発生し、餌止め等の対応により飼料の販売数量が減少し減収となりました。

利益面では、新規事業の「ウナギ養殖事業」が業績に寄与したこと、また、経費面で貸倒引当金の戻入れ1億7百万円(前年同期は16百万円の戻入れ)の影響もあり、各利益は増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は191億97百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益は10億21百万円(前年同期比16.2%増)、経常利益は11億78百万円(前年同期比19.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億60百万円(前年同期比21.6%増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

| セグメントの名称 | 平成27年3月期 第2四半期連結 累計期間売上高 (百万円) | 平成28年3月期 第2四半期連結 累計期間売上高 (百万円) | 対前年同期比較 | |
|------------|---|---|---------------|------------|
| | | | 金額差異 (百万円) | 増減率 (%) |
| 鮮魚の販売事業 | 12,102 | 12,839 | 736 | 6.1 |
| 餌料・飼料の販売事業 | 7,101 | 6,338 | △762 | △10.7 |
| その他の事業 | 31 | 18 | △12 | △40.7 |
| 合計 | 19,235 | 19,197 | △38 | △0.2 |

(注) セグメント間の取引については、相殺消去しております。

「鮮魚の販売事業」では、ハマチ及びハマチフィーレは価格低下要因により減収となりましたが、鮮魚全体で販売数量が増加し、また、成鰻の販売も業績に寄与し増収増益となりました。

この結果、売上高は128億39百万円(前年同期比6.1%増)、セグメント利益は1億94百万円(前年同期比108.9%増)となりました。

「餌料・飼料の販売事業」では、上述の要因により、配合飼料・モイストペレットの販売数量が減少し減収となりました。

利益面では貸倒引当金の戻入れなどもあり、ほぼ前年同期並みの利益となりました。

この結果、売上高は63億38百万円(前年同期比10.7%減)、セグメント利益は8億46百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

「その他の事業」では、売上高は18百万円(前年同期比40.7%減)、セグメント損失は7百万円(前第2四半期連結累計期間はセグメント損失16百万円)となりました。

なお、セグメント間の取引については相殺消去しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は218億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億86百万円(10.5%)増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加(111億35百万円から126億30百万円となり、14億95百万円増加)、受取手形及び売掛金の増加(68億96百万円から82億76百万円となり、13億80百万円増加)、短期貸付金の減少(8億26百万円から4億72百万円となり、3億54百万円減少)、仕掛品の減少(10億38百万円から8億57百万円となり、1億80百万円減少)等によるものであります。

固定資産合計は66億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円(0.7%)減少いたしました。

この結果、資産合計は284億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億41百万円(7.7%)増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は54億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億60百万円(43.5%)増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加(25億25百万円から32億35百万円となり、7億10百万円増加)、短期借入金の増加(13億円)、流動負債のその他(未払金等)の減少(8億81百万円から4億75百万円となり、4億5百万円減少)等によるものであります。

固定負債合計は3億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円(8.6%)減少いたしました。

この結果、負債合計は58億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億26百万円(38.7%)増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は226億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億14百万円(1.9%)増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加(164億67百万円から169億89百万円となり、5億22百万円増加)、その他有価証券評価差額金の減少(4億85百万円から3億76百万円となり、1億8百万円減少)によるものであります。

この結果、自己資本比率は79.5%(前連結会計年度末は84.1%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、70億78百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は9億8百万円(前年同期比246.9%増)となり、これは主に税金等調整前四半期純利益の計上(11億10百万円)、法人税等の支払い(△3億89百万円)等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6億5百万円(前年同期比37.6%減)となり、これは主に有形固定資産の取得による支出(△5億33百万円)、投資有価証券の取得による支出(△1億56百万円)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は11億61百万円(前年同期は1億38百万円の支出)となり、これは主に短期借入金の純増額(13億円)、配当金の支払い(△1億38百万円)等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しとしましては、ハマチの魚価は引き続き安値基調で推移する見通しもあり、養殖業界全体で厳しい状況が継続することが想定されますが、現時点においては平成27年5月8日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

なお、今後「業績予想の修正等」に関する開示の必要性が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更及び小数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 11,135,356 | 12,630,867 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,896,203 | 8,276,711 |
| 有価証券 | 100,000 | — |
| 商品及び製品 | 625,537 | 477,165 |
| 仕掛品 | 1,038,659 | 857,808 |
| 原材料及び貯蔵品 | 22,632 | 14,260 |
| 短期貸付金 | 826,766 | 472,729 |
| その他 | 350,783 | 248,278 |
| 貸倒引当金 | △1,196,556 | △1,092,420 |
| 流動資産合計 | 19,799,383 | 21,885,400 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 2,876,668 | 2,861,913 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 117,189 | 70,313 |
| その他 | 1,972 | 1,927 |
| 無形固定資産合計 | 119,161 | 72,240 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 4,225,285 | 4,238,600 |
| 貸倒引当金 | △564,672 | △561,196 |
| 投資その他の資産合計 | 3,660,613 | 3,677,404 |
| 固定資産合計 | 6,656,443 | 6,611,558 |
| 資産合計 | 26,455,826 | 28,496,959 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,525,179 | 3,235,196 |
| 短期借入金 | — | 1,300,000 |
| 未払法人税等 | 393,530 | 448,745 |
| 賞与引当金 | 17,679 | 18,322 |
| その他 | 881,128 | 475,448 |
| 流動負債合計 | 3,817,516 | 5,477,712 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 62,202 | 73,383 |
| 退職給付に係る負債 | 157,890 | 163,258 |
| 資産除去債務 | 26,432 | 26,617 |
| その他 | 143,327 | 93,175 |
| 固定負債合計 | 389,852 | 356,434 |
| 負債合計 | 4,207,369 | 5,834,146 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,187,615 | 2,187,615 |
| 資本剰余金 | 3,124,285 | 3,124,285 |
| 利益剰余金 | 16,467,283 | 16,989,792 |
| 自己株式 | △16,712 | △16,781 |
| 株主資本合計 | 21,762,471 | 22,284,910 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 485,055 | 376,899 |
| その他の包括利益累計額合計 | 485,055 | 376,899 |
| 非支配株主持分 | 930 | 1,001 |
| 純資産合計 | 22,248,457 | 22,662,812 |
| 負債純資産合計 | 26,455,826 | 28,496,959 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 19,235,805 | 19,197,038 |
| 売上原価 | 16,646,118 | 16,396,565 |
| 売上総利益 | 2,589,686 | 2,800,473 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,710,184 | 1,778,930 |
| 営業利益 | 879,501 | 1,021,543 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 63,405 | 73,787 |
| 受取配当金 | 16,573 | 39,511 |
| 投資不動産賃貸料 | 19,080 | 20,004 |
| その他 | 48,458 | 38,667 |
| 営業外収益合計 | 147,517 | 171,970 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | — | 1,070 |
| 投資不動産賃貸費用 | 9,555 | 14,038 |
| 投資事業組合運用損 | 32,998 | — |
| その他 | 229 | 78 |
| 営業外費用合計 | 42,782 | 15,187 |
| 経常利益 | 984,236 | 1,178,327 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2,550 | 782 |
| 特別利益合計 | 2,550 | 782 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 6 | 2,419 |
| 投資有価証券評価損 | — | 66,586 |
| 特別損失合計 | 6 | 69,006 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 986,781 | 1,110,103 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 477,575 | 440,481 |
| 法人税等調整額 | △34,046 | 8,768 |
| 法人税等合計 | 443,528 | 449,249 |
| 四半期純利益 | 543,252 | 660,854 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △11 | 72 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 543,263 | 660,781 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 543,252 | 660,854 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 61,419 | △108,156 |
| その他の包括利益合計 | 61,419 | △108,156 |
| 四半期包括利益 | 604,671 | 552,697 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 604,682 | 552,626 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △11 | 71 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 986,781 | 1,110,103 |
| 減価償却費 | 72,418 | 167,395 |
| のれん償却額 | 46,875 | 46,875 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 11,081 | 11,181 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △465 | 643 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △16,912 | △107,612 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 2,862 | 5,368 |
| 受取利息及び受取配当金 | △79,979 | △113,299 |
| 支払利息 | — | 1,070 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △2,550 | △782 |
| 固定資産除却損 | 6 | 2,419 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | — | 66,586 |
| 投資不動産賃貸収入 | △19,080 | △20,004 |
| 投資不動産賃貸費用 | 9,555 | 14,038 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △885,863 | △1,116,509 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 38,085 | 337,595 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 590,868 | 710,017 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 27,893 | 82,268 |
| その他 | 74,493 | 6,684 |
| 小計 | 856,069 | 1,204,039 |
| 利息及び配当金の受取額 | 67,307 | 95,532 |
| 利息の支払額 | — | △1,070 |
| 法人税等の支払額 | △661,465 | △389,953 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 261,911 | 908,548 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の増減額(△は増加) | △80,600 | △30,600 |
| 有価証券の償還による収入 | — | 100,000 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △525,079 | △156,954 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △427,017 | △533,627 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 2,869 | 923 |
| 投資不動産の賃貸による収入 | 19,080 | 20,004 |
| 投資不動産の賃貸による支出 | △4,994 | △5,793 |
| 貸付けによる支出 | △290,331 | △276,829 |
| 貸付金の回収による収入 | 290,865 | 366,868 |
| その他 | 45,072 | △89,097 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △970,135 | △605,107 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | — | 1,300,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △326 | △69 |
| 配当金の支払額 | △138,386 | △138,370 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △138,712 | 1,161,560 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2,857 | △91 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △844,078 | 1,464,910 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,280,071 | 5,613,956 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 6,435,993 | 7,078,867 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-------------|----------------|------------|--------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 鮮魚の販売 事業 | 餌料・飼料 の販売事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 12,102,845 | 7,101,411 | 19,204,257 | 31,548 | 19,235,805 | — | 19,235,805 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 121,321 | 121,321 | 77,628 | 198,949 | △198,949 | — |
| 計 | 12,102,845 | 7,222,732 | 19,325,578 | 109,176 | 19,434,754 | △198,949 | 19,235,805 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 93,067 | 845,951 | 939,019 | △16,980 | 922,038 | △42,536 | 879,501 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の一般貨物運送事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△42,536千円には、セグメント間取引消去における内部利益△11,802千円、のれん償却額△46,875千円及びその他の調整額16,140千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-------------|----------------|------------|--------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 鮮魚の販売 事業 | 餌料・飼料 の販売事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 12,839,502 | 6,338,821 | 19,178,323 | 18,714 | 19,197,038 | — | 19,197,038 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 266,094 | 266,094 | 81,141 | 347,236 | △347,236 | — |
| 計 | 12,839,502 | 6,604,916 | 19,444,418 | 99,856 | 19,544,274 | △347,236 | 19,197,038 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 194,429 | 846,948 | 1,041,378 | △7,682 | 1,033,695 | △12,151 | 1,021,543 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の一般貨物運送事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△12,151千円には、セグメント間取引消去における内部利益△5,164千円、のれん償却額△46,875千円及びその他の調整額39,888千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。